

保護者向け

2025年度児童発達支援評価表（高田キャンパス）

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見（赤字 ご意見を踏まえた対応） |
|----------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 8 | 1 | 1 | 1 | 戸建てのお家の、リビングスペースでの活動は狭かったのではと思います。 通所時間や活動場所を1階と二階に分けるなど十分なスペースを確保したい |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | 1 | | | 戸建てのお家が事業所なので、階段があり、バリアフリー化は難しくそうです。 階段があるのでバリアフリーは難しいが、手すりをつけたり、階段以外の場所で段差をつけない配慮を行っています |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 10 | 1 | | | シグカードや、活動スペース、学習スペースを分ける。落ち着いて話が聞けるよう、イスの配置や、机の高さを子供に応じて調整しています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 11 | | | | 毎日清掃、消毒を行い、整理整頓を全職員で行い、感染症蔓延防止対策を行っています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 11 | | | | 毎朝朝礼時にその日に通う予定がある児童の個別支援計画の読み上げを行い、その日の指導のねらいの共有、注意事項、配慮事項、声掛けの方法等、全職員での共有を行いながら指導の準備を行っています |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 11 | | | | 公表をしているプログラムを遂行できるよう、準備をしており、雨天時歩行訓練にいけない場合は口腔訓練やリトミックなど代替えでどの様に過ごしていくか？も事前に指導前に計画を行っている |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 | 11 | | | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っていくか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう務めています。作成後、相違がないか？保護者への確認も行います。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 11 | | | | 幼稚園入園前の準備や、小学校入学前の準備等は1年前よりスタートし、適切かつ、本人のできる力を伸ばすよう支援を行っている |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 11 | | | | 毎朝朝礼時にその日に通う予定がある児童の個別支援計画の読み上げを行っている。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 11 | | | | 月案を作成し、活動プログラムが固定化されない様、様々な事にチャレンジする事、体験を通じて自信がつくよう工夫を行っている |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 3 | 1 | 4 | 3 | 午前中は幼稚園に通っている為、交流の必要はないと考えています。 交流は必要に応じて行う予定だが、今のところ交流を必要とする児童は少ないと考えています |
| 保 護 者 へ の 支 援 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 11 | | | | 見学時、契約時に説明をするようにしている |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 11 | | | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | 2 | 1 | 2 | 年に2回保護者会や懇談会中に支援に対しての研修機会を設けている。前年度は50%の保護者が参加されていたが、今年度はさらに多くの保護者へ参加してもらいたいと考えている。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 11 | | | | 必ずお迎えに来ていただき、お子様の様子、表情を保護者に直接見てもらえる機会を設けている。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 10 | | | 1 | 年に2回モニタリング時や夏休み等に面談の時間を設けている。子供の様子に変化や共有が必要だと感じた際は常に面談の機会を設ける様声掛けをしている |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 11 | | | | 職員は児童それぞれの特性や長所を良く見て、成長を保護者と共に喜び合える様、日ごろから職員間での共有を行っています |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---|---|
| 説明等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 8 | | 2 | 1 | 親子遠足・保護者会等で保護者同士の交流の機会を設けている。兄弟児も参加できるようなイベントの開催もしているが、他行事と重なって参加できないご家庭もあったので、今年は皆さんの年間行事日程を確認しながら、スケジュールを出す予定でいる | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 9 | 1 | | 1 | 保護者会時にモニタールームでお子様の様子を確認するよう、周知している。モニタールームに来所の際は指導員や児童発達管理責任者が保護者へ声掛けをするようにして、小さな相談事にも対応していきたいと考えている | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | 1 | | | | 直接のフィードバックと共に、サービス提供記録を都度見られるようにしている。コメント欄があり、そういったツールでの相談や、公式LINEを使って 細かく情報伝達できよう工夫をしている |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 7 | 2 | | | 2 | 公式LINEの一斉配信にて、行事（遠足等）のお知らせや、自己評価結果のお知らせをするようにしている。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 5 | 3 | | | 3 | 玄関前に、児童向けのファイルが並べられていて、通所中の児童の氏名が保護者なら誰でも見られるようになっていました。 児童名が見られない様、配慮を徹底していきます |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 6 | 2 | | 3 | 年に二回防災・避難訓練を行うとともに、保護者向け災害用伝言ダイヤルの操作訓練を実施しています。保護者モニタールームへ各種マニュアルや規約をファイリングして閲覧可能にはなっているが、再度周知をしていきます。 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 8 | | | 3 | 年に二回防災・避難訓練を行っている | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | 1 | | | 2 | 23回答と同様。安全計画を作成し、支援を行っている。 2025年度は通所時に台風の警報があり、お迎えの安全確保の為、各保護者へ連絡、安全な場所まで送迎車を出すなど対応を行った。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 9 | 1 | | | 1 | すぐに保護者へ電話連絡を行い、応急処置を行いながら、時系列で自動の様子の履歴を残す様、徹底している。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 11 | | | | みんなケイバースの中で楽しく、穏やかに過ごす事ができています | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 11 | | | | みんなケイバースの中で楽しく、穏やかに過ごす事ができています | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 11 | | | | 子どものことを本当の家族のように接して育ててくださっていることがいつも伝わってきます。良いところ悪いところも知ってくださっているのでなんでも相談できますし、今の子どもの成長があるのは確実にケイバースの先生方の関わりのおかげだと思っています。 有難うございます。今年度も前年度以上にお子さまとご家族さまに満足して暮らす様支援に努めます | |

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者向け

放課後等デイサービス評価表（高田キャンパス）

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|---|---|----|---------------|-----|---|---|
| | | | | | | 赤字：ご意見を踏まえた対応 |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 8 | | | | 引き続き十分なスペースの確保をしていきたい |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 7 | 1 | | | 適切な配置をしている |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 8 | | | | 環境設定に努めている |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 8 | | | | 毎日清掃を行い清潔を保っている。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | | | | 環境設定、プログラム設定を特性に合わせて行うよう努めている |
| | 6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 8 | | | | 支援プログラムを順守しながら、活動に偏りがないうよう、支援に努めている |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 | 8 | | | | アセスメント・計画はPDCAを行いながら適切に作成している |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 8 | | | | 4つの基本活動を単独ではなく、子どもの状況に応じて複数組み合わせながら支援を行っている 例えば、調理活動では自立支援（身辺動作や役割分担）と創作活動の要素を取り入れ、さらに他児との協力を通じて社会性の育成を図っています |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | サービス計画に沿った支援を行うよう努めています |
| | 10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 様々な体験・経験の積み重ねができるよう、計画をしている |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 3 | 3 | | 地域の子供との交流は特に求めていない 放課後に通所する児童が多く、今のところ必要に感じていないが、必要に応じて交流もしていきたい |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 7 | 1 | | | 契約時に説明を行っている |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | | | | 契約時、モニタリング時に説明を行っている |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 5 | 1 | 1 | 1 | 保護者会時に発達障がい理解やプログラム遂行においての基本的な学びの機会を設けている 必要に応じてペアレントトレーニングも行うようになっている |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 8 | | | | 細かく共通認識がもてるよう、保護者と顔を合わせて会話できるよう努めています。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | | 定期的に面談をお願いしています |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | | 沢山できることが増えていく子供たちの様子を保護者とともに、喜び合いながら、指導をしています |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 2 | 3 | 1 | 2 | 保護者会時に座談会を開催しているが、まだまだ話したりない様子の雰囲気なので、もっとそういった機会をゆくり作っていきける計画をすすめている。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 5 | 2 | | 1 | 苦情については専用の窓口を設置して、指導員が直接対応するのではなく、会社として適切に対応するように努めている。契約時に窓口の説明を行っているが、忘れてしまっている保護者もいるため、年度初めに再度周知を行いたい |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | | | | 配慮するよう、努めている |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 7 | 1 | | | 必要に応じて LINEの斉配信で周知を行った後、紙面を配布するようになっている |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 8 | | | | 留意に努めている |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 8 | | | | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | | 1 | 2 | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 5 | 1 | 1 | 1 | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 6 | 1 | | 1 | 常に行える体制を整えている。インシデント報告書も作成し、保護者に共有するようになっている |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | | | | いつも穏やかな表情で通所しています |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | 1 | | | よく笑い、一生懸命取り組んでくれています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | | 引き続き様々な経験の積み重ねができる様努めてまいります。 |

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

保護者向け

2025年度児童発達支援評価表（日吉キャンパス）

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見（赤字 ご意見を踏まえた対応） |
|----------|---|----|-----------|-----|-------|---|
| 環境・体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 9 | | | | 通所時間や活動場所分けるなど十分なスペースを確保しながら支援を行っている |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 8 | 1 | | | 配置数は適切ではあるが、保護者へどの様に理解してもらえるか？を考え説明する機会を設けていきたい |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | | | | シグカードや、活動スペース、学習スペースを分ける。落ち着いて話が聞けるよう、イスの配置や、机の高さを子供に応じて調整しています。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 9 | | | | 毎日清掃、消毒を行い、整理整頓を全職員で行い、感染症蔓延防止対策を行っています。 |
| 適切な支援の提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | 1 | | | 毎朝朝礼時にその日に通う予定がある児童の個別支援計画の読み上げを行い、その日の指導のねらいの共有、注意事項、配慮事項、声掛けの方法等、全職員での共有を行いながら指導の準備を行っている |
| | 6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っているとと思いますか。 | 9 | | | | 公表しているプログラムを遂行できるよう、準備をしており、雨天時歩行訓練にいけない場合は口腔訓練やリトミックなど代替えでどの様に過ごしていくか？も事前に指導前に計画を行っている |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 | 9 | | | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っているか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう務めています。作成後、相違がないか？保護者への確認も行います。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | | | 幼稚園入園前の準備や、小学校入学前の準備等は1年前よりスタートし、適切かつ、本人のできる力を伸ばすよう支援を行っている |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 9 | | | | 毎朝朝礼時にその日に通う予定がある児童の個別支援計画の読み上げを行っている。 |
| | 10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 9 | | | | 月案を作成し、活動プログラムが固定化されない様、様々な事にチャレンジする事、体験を通じて自信がつくよう工夫を行っている |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4 | | 3 | 2 | 午前中は幼稚園に通っている 交流は必要に応じて行う予定だが、今のところ交流を必要とする児童の通所がない状況にある |
| 保護者への | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 7 | 2 | | | 見学時、契約時に説明をするようにしている |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | 1 | | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | 1 | 2 | | 年に2回保護者会や懇談会中に支援に対しての研修機会を設けている。前年度は50%の保護者が参加されていたが、今年度はさらに多くの保護者へ参加してもらいたいと考えている。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 8 | 1 | | | 送迎の人には伝えていますが、伝言ゲームになってしまっている所もある。 なるべくお迎えに来ていただき、お子様の様子、表情を保護者に直接見てもらう機会を設けている。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | 1 | | 年に2回モニタリング時や夏休み等に面談の時間を設けている。子供の様子に変化や共有が必要だと感じた際は常に面談の機会を設ける様声掛けをしている |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | 1 | 職員は児童それぞれの特性や長所を良く見て、成長を保護者と共に喜び合える様、日ごろから職員間での共有を行っています |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|--|
| 説明等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6 | | 2 | 1 | 親子遠足・保護者会等で保護者同士の交流の機会を設けている。兄弟児も参加できるようなイベントの開催もしているが、他行事と重なって参加できないご家庭もあったので、今年は皆さんの年間行事日程を確認しながら、スケジュールを出す予定でいる |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 8 | 1 | | | 保護者会時にモニタールームでお子様の様子を確認するよう、周知している。モニタールームに来所の際は指導員や児童発達管理責任者が保護者へ声掛けをするようにして、小さな相談事にも対応していきたいと考えている |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | 1 | | | 直接のフィードバックと共に、サービス提供記録を都度見られるようにしている。コメント欄があり、そういったツールでの相談や、公式LINEを使って 細かく情報伝達できるよう工夫をしている |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 9 | | | | 公式LINEの一斉配信にて、行事（遠足等）のお知らせや、自己評価結果のお知らせをするようにしている。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 8 | 1 | | | 個人情報に配慮していきます |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 7 | | | 2 | 年に二回防災・避難訓練を行うとともに、保護者向け災害用伝言ダイヤルの操作訓練を実施しています。保護者モニタールームへ各種マニュアルや規約をファイリングして閲覧可能にはなっているが、再度周知をしていきます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | 1 | | 3 | 年に二回防災・避難訓練を行っているが訓練結果報告も保護者へ周知できるよう、掲示に等していきたい |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | 23回答と同様。安全計画を作成し、支援を行っている。 2025年度は通所時に台風の警報があり、お迎えの安全確保の為、各保護者へ連絡、安全な場所まで送迎車を出すなど対応を行った。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。 | 8 | 1 | | | すぐに保護者へ電話連絡を行い、応急処置を行いながら、時系列で自動の様子の履歴を残す様、徹底している。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | 1 | | | みんなケイバースの中で楽しく、穏やかに過ごす事ができています |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | 2 | | | 性格、年齢的なこともあるので通所前の態度が全てとは思いませんが… みんなケイバースの中で楽しく、穏やかに過ごす事ができています |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | | | | とても楽しそうに毎回行っていきます。 有難うございます。今年度も前年度以上にお子さまとご家族さまに満足してもらえる様支援に努めます |

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者向け

放課後等デイサービス評価表（日吉キャンパス）

（保護者の皆さまへ）

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | |
|---|---|----|---------------|-----|-------|---|-----------------------------|
| | | | | | | 赤字：ご意見を踏まえた対応 | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 8 | | | | 引き続き十分なスペースの確保をしていきたい | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 7 | | | 1 | 適切な配置をしている | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 8 | | | | 環境設定に努めている | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 8 | | | | 毎日清掃を行い清潔を保っている。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | | | | 環境設定、プログラム設定を特性に合わせて行うよう努めている | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 8 | | | | 支援プログラムを順守しながら、活動に偏りが無いよう、支援に努めている | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 | 8 | | | | アセスメント・計画はPDCAを行いながら適切に作成している | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 8 | | | | 4つの基本活動を単独ではなく、子どもの状況に応じて複数組み合わせながら支援を行っている 例えば、調理活動では自立支援（身辺動作や役割分担）と創作活動の要素を取り入れ、さらに他児との協力を通じて社会性の育成を図っています | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | サービス計画に沿った支援を行うよう努めています | |
| | 10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 7 | | | | 1 | 様々な体験・経験の積み重ねができるよう、計画をしている |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 2 | 2 | 2 | 放課後に通所する児童が多く、今のところ必要に感じていないが、必要に応じて交流もしていきたい | |
| 保護者 への 説明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 8 | | | | 契約時に説明を行っている | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | | | | 契約時、モニタリング時に説明を行っている | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 8 | | | | 保護者会時に発達障がい理解やプログラム遂行においての基本的な学びの機会を設けている 必要に応じてペアレントトレーニングも行うようになっている | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 8 | | | | 細かく共通認識がもてるよう、保護者と顔を合わせて会話できるよう努めています。 | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | | 定期的に面談をお願いしています | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | | 沢山できることが増えていく子供たちの様子を保護者とともに、喜び合いながら、指導をしています | |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | | | | 1 | 保護者会時に座談会を開催しているが、まだまだ話したりない様子の雰囲気なので、もっとそういった機会をゆっくり作っていきける計画をすすめている。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 8 | | | | 苦情については専用の窓口を設置して、指導員が直接対応するのではなく、会社として適切に対応するように努めている。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | | | | 配慮するよう、努めている |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | | | | 必要に応じて LINEの斉配信で周知を行った後、紙面を配布するようになっている |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 8 | | | | 留意に努めている |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 7 | | | 1 | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 7 | | | 1 | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | 年に二回訓練と研修を行うようになっている |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | | | | 常に行える体制を整えている。インシデント報告書も作成し、保護者に共有するようになっている |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | | | | いつも穏やかな表情で通所をしています |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 8 | | | | よく笑い、一生懸命取り組んでくれています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | | 引き続き様々な経験の積み重ねができる様努めてまいります。 |

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

従業者向け

2025年度児童発達支援評価表 (高田キャンパス)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など 赤字：意見を踏まえた事業所回答 |
|---------|----|---|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | 通所時間や活動場所を1階と2階に分けるなど 十分なスペースを確保するよう、朝礼時に調整が上手く出来ている |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 2 | 子どもの様子次第で手薄に感じることもある 適切に配置は行っているが、ケア度が高い児童の対応策も考えていきたい |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 3 | 階段があるので、バリアフリー化は難しいが、 環境設定はしっかりおこなえていると思う 引き続き事故のない様適切な配慮をするよう努めていく |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | | 引き続き、毎日の掃除や整理整頓に努めていく |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | | 常に認められる環境を用意している |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | 毎月PDCAサイクルが行えるよう、会議時間を設けている |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 毎年度、評価表の共有と共に改善点も共有し、お互いが満足していきながら勤務ができる様、働く環境を整えている |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 都度、必要に応じて面談や意見を出し合う機会をつくっている |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | | 第三者評価の内容を十分理解し、業務改善につなげている |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | 毎月研修を行っており、2025年度は、モンテッソーリ研修、感覚統合研修、発達障がいに対する学びや実践をする研修を行った。個々に希望をすれば専門的な研修を受けられるよう、会社に支援制度が |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | 毎月月案の会議を行っており、それを元に保護者へ活動予定表を配布している |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 7 | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っていくか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう務めています。作成後、相違がないか？指導員や保護者への確認も行って |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | 支援会議を開催して共通理解を徹底している |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | 朝礼時に個別支援計画の読み上げを行い、支援計画書を元に支援が行えるよう体制を整えている |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | |

| | | | | | |
|--------------|--|--|---|-----------------|--|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | 就学・就園前にどのような支援が必要なのか？を支援会議で共有しながら個別支援計画の作成・指導を行っている |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 行っている |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | 工夫している |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | 児童の様子に合わせた個別支援計画作成のもと支援を行うようにしている |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 1 | 朝礼時に支援内容の確認、時間ごとにどのような役割分担をするか？確認をしながら支援を行っている。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 1 | 終礼がないため、児童発達管理へ共有したり、ケア記録にのこすようにしている |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | サービス提供記録に残すようにしている |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | 毎月PDCAサイクルが行えるよう、会議時間を設けている |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | 基本的に児童発達支援管理責任者が参加。参加前に本児の様子については指導員からも情報共有をしてもらった上で参加している |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | 連携できるよう、連絡先一覧なども閲覧しやすい場所に掲示している |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | | 保護者会時にそういった内容の周知をしている。欠席した方へも、内容を資料にまとめて配布している |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | | 必要に応じて行うようにしている |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 7 | | 必要に応じて行える準備をしている |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | | 必要に応じて行える準備をしている |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | 必ず通所時に保護者と顔を合わせてお話できる場を設けている。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | 保護者会時に研修を行っている。 | |

| | | | | | |
|----------|---------------------------------------|--|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | 見学时、契約時に説明をするようにしている |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | 密に連絡を取り合えるよう努めている |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | | 開催はしているが、参加しない家庭もあり、なるべく参加してもらえよう、工夫をしていきたい。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | 密に連絡を取り合えるよう努めている |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | 一斉配信にて、連絡を行った上で手紙で活動や行事の予定を周知している。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | 配慮ができるような研修を行い、より良い保護者支援につなげていきたいと考えている |
| 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 7 | | 今のところ、考えていない。 (特性が強い児童がおり、配慮が必要なため) | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | 事前に配慮が必要な児童の保護者から対応方法の共有をしてもらうようにし、職員のみがすぐに見られる場所へ掲示をしている |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | 保護者から対応方法の共有をもらい、職員のみがすぐに見られる場所へ掲示をしている |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | 都度確認を行い、安全管理を行っている |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | 安全計画をファイルにまとめて周知をしている |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | 職員全員が目を通すよう回覧式にして、再発防止に努めている |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | 虐待防止研修や虐待チェックシートなどの活用している |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | | 基本的に身体拘束についての研修を行った上で必要に応じて管理者へ報告相談後実施する予定。個別支援計画および、契約時に重要事項説明書で説明を行うようにしている |

従業員向け 放課後等デイサービス評価表(高田キャンパス)

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など 赤字：ご意見を踏まえた対応 |
|---------|----|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | 適切になるよう 通所人数調整をしている |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 1 | 適切になるよう 通所人数調整をしている |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 3 | 階段があったり二階建てで上の音がひびくことがある 活動場所に刺激がないよう配慮した環境設定を行っている |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | | 日々清潔を保つよう、清掃・消毒を行っている |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 1 | 現状個別指導対象の児童はいないが、必要に応じて個別支援を行っている |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | 支援会議日程は職員が全員参加できるよう調整している |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | 毎年1回周知を行うようにしている。HPに掲載も行っている |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | コミュニケーションを大切に、細かいことも職員間で意見交換できるような環境をつくれるよう、努めている |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | | 毎年1回行うようにしている。HPに掲載している |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | 毎月様々な研修に参加できている |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | プログラム作成後、毎月保護者へお手紙でお知らせを行っている |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | アセスメント・計画はPDCAを行いながら適切に作成している |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | 全職員でPDCAを行いながら適切に検討会議を行っている |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | 計画を元に支援を行うよう努めている |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | 標準化された評価ツールによるフォーマルなアセスメントと、日常の行動観察等によるインフォーマルなアセスメントの両方を用いて、こどもの適応行動の状況を確認している |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | 支援内容が適切に設定されているものか？本児の様子をみながら遂行している |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 職員会議の場を設けて作成している |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | 様々な体験・経験の積み重ねができるよう、計画をしている |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | 集団行動練習と、それぞれの学習課題、習熟度に合わせてプリントを用意して支援を行っている。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | 朝礼時にタイムスケジュールと役割分担を確認し、支援を行っている |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | | 終礼はないが、記録に残すこと、児童発達支援管理責任者への報告を夫々が行って退勤するようにしている |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | サービス提供記録にて残すようにしている。改善については、管理者への報告を行うよう努めている |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っているか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう努めています。作成後、相違がないか？指導員や保護者への確認も行って |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 7 | | 日々のプログラムの中で複数の要素を組み合わせ支援している。例えば、創作活動の中に日常生活動作の練習を取り入れたり、活動の中で他児との関わりを意識した活動等ができるよう支援プログラムの計画を立てている |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | こどもが自ら選択できるような複数の選択肢を提示し、意思表示を尊重することで、自己決定する力を育てる支援を行うよう努めています |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | 児童発達支援管理責任者が参加をするようにしている |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | 体制は整えているが、そういった機会は多くはない。2025年度は2施設のみだった |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | 6 | 学校との共有は行わず、保護者と年間行事の共有を行っている。送迎はしておらず、保護者の送迎ができる児童のみ受け入れを行っている状況 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | 必要に応じて行うようにしているが、まずは保護者へ特相センターへの就学相談をするように進めている。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | 6 | 必要に応じて行うよう努めたいと考えているが小学生までの児童が通所しているため、現実的にそういった機会は少ない |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 7 | | 必要に応じて行うよう努めたいと考えている |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | 6 | 放課後に通所する児童のみなので、基本的にはそういった活動を考えていない |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | 6 | 参加していない そういった機会は少ない |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | お迎え時に直接どのような様子だったか？発達上できる様になったことや、今練習していること、課題などを共有しあって意見交換できるようにしている。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 3 | 保護者会時に発達障がい理解やプログラム遂行における基本的な学びの機会を設けている ペアレントトレーニングの研修機会を設けたい |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | 契約時等に説明を行いながら、契約書・重要事項説明書に署名してもらっている。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | 作成にあたり、こども及び保護者の意向を確認する機会をアンケートベースで設け、意思を尊重するとともに、こどもの最善の利益を踏まえた支援内容を検討するように努めている |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | 個別支援計画を一読、必要に応じて説明を行いながら、同意を頂くようにしている。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | 必要に応じて気軽に相談や面談ができる体制を整えている。特に不登校時は通所日以外の本児の様子確認やかかわり方なども面談で伝える様にしている。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 1 | 保護者会時に座談会を開催しているが、まだまだ話したりない様子の雰囲気なので、もっとそういった機会をゆっくり作っていきける計画をすすめている。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | 苦情については専用の窓口を設置して、指導員が直接対応するのではなく、会社として適切に対応するように努めている。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | 必要に応じて LINEの一斉配信で周知を行った後、紙面を配布するようにしている |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | 十分留意している。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | 配慮している。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 7 | | そういった機会はあまり設けていないが、モンテッソーリ体験会などは近所のお子様も参加できるように、声掛けなどを行っている。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | 確認している |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | 現状通所児童にアレルギー対応を必要とする子どもはいないが、アレルギー対応マニュアルに沿って対応を行っていく予定 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | 年に一回研修を行い、毎月点検、訓練の実施を行っている |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | 行っている。災害用伝言ダイヤルの練習を保護者と主に行うなど、保護者参加型の訓練も実施 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | 常に行っている。インシデント報告書も作成・回覧で周知するように徹底している |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 研修は年に二回あり、適切に対応するよう指導を行うとともに、チェックシートなどの活用もしている |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 身体拘束適正マニュアル・指針を確認するとともに、保護者へ契約時に説明を行うようにしている。 |

従業員向け

2025年度児童発達支援評価表 (日吉キャンパス)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など 赤字：意見を踏まえた事業所回答 |
|---------|----|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | 通所時間や活動場所を分けるなど 十分なスペースを確保するよう支援の組み立てを行っている |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | 適切に配置は行っているが子供の人数より大人の人数が多いと感じることもある |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | 引き続き事故のない様適切な配慮をするよう努めていく |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | 引き続き、毎日の掃除や整理整頓に努めていく |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | 常に認められる環境を用意している |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | 毎月PDCAサイクルが行えるよう、会議時間を設けている |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | まだ入職したばかりでわからない 毎年度、評価表の共有と共に改善点も共有し、お互いが満足していきながら勤務ができる様、働く環境を整えている |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | 都度、必要に応じて面談や意見を出し合う機会をつくっている |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 2 | 第三者評価の内容を十分理解し、業務改善につなげている |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 毎月研修を行っており、2025年度は、モンテッソーリ研修、感覚統合研修、発達障がいに対する学びや実践をする研修を行った。個々に希望をすれば専門的な研修を受けられるよう、会社に支援制度が毎月月案の会議を行っており、それを元に保護者へ活動予定表を配布している |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っていくか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう務めています。作成後、相違がないか？指導員や保護者への確認も行って |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 1 | 支援会議を開催して共通理解を徹底している |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | 朝礼時に個別支援計画の読み上げを行い、支援計画書を元に支援が行えるよう体制を整えている |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | 日々の様子の観察や保護者・関係者からの聞き取りも行いながら、こどもの適応行動の状況を確認している。場面ごとの違いにも留意し、継続的な把握に努めている |

| | | | | | |
|--------------|--|--|---|-----------------|--|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | 就学・就園前にどのような支援が必要なのか？を支援会議で共有しながら個別支援計画の作成・指導を行っている |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | 行っている |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | 工夫している |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | 児童の様子に合わせた個別支援計画作成のもと支援を行うようにしている |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | 朝礼時に支援内容の確認、時間ごとにどのような役割分担をするか？確認をしながら支援を行っている。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | 終礼がないため、児童発達管理へ共有したり、ケア記録にのこすようにしている |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | サービス提供記録に残すようにしている |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 1 | 毎月PDCAサイクルが行えるよう、会議時間を設けている |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | 基本的に児童発達支援管理責任者が参加。参加前に本児の様子については指導員からも情報共有をしてもらった上で参加している |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | 連携できるよう、連絡先一覧なども閲覧しやすい場所に掲示している |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | 保護者会時にそういった内容の周知をしている。欠席した方へも、内容を資料にまとめて配布している |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | 必要に応じて行うようにしている |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 2 | 4 | まだ実施したことがない 必要に応じて行える準備をしている |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 4 | まだ実施したことがない 必要に応じて行える準備をしている |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | 保護者会時に研修を行っている。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | | 保護者会時に研修を行っている。 | |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | 見学时、契約時に説明をするようにしている |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | 個別支援計画書を作成し、説明をして 署名を頂くようにしている。また、書類を渡すとともに、保護者閲覧アプリでいつでも保護者が確認できるようにしている |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | 密に連絡を取り合えるよう努めている |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | | 開催はしているが、参加しない家庭もあり、なるべく参加してもらえよう、工夫をしていきたい。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | 密に連絡を取り合えるよう努めている |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | 一斉配信にて、連絡を行った上で手紙で活動や行事の予定を周知している。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | 配慮ができるような研修を行い、より良い保護者支援につなげていきたいと考えている |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | | 今のところ、考えていない。 (特性が強い児童がおり、配慮が必要なため) |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | | 事前に配慮が必要な児童の保護者から対応方法の共有をしてもらうようにし、職員のみがすぐに見られる場所へ掲示をしている |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | アレルギーの児童がいないので未実施 アレルギー対応マニュアルを作成しており、アレルギー対応時には再度確認周知を行っている |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 都度確認を行い、安全管理を行っている |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | 安全計画をファイルにまとめて周知をしている |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 職員全員が目を通すよう回覧式にして、再発防止に努めている |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 虐待防止研修や虐待チェックシートなどの活用している |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | | 基本的に身体拘束についての研修を行った上で必要に応じて管理者へ報告相談後実施する予定。個別支援計画および、契約時に重要事項説明書で説明を行うようにしている |

従業員向け 放課後等デイサービス評価表(日吉キャンパス)

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など 赤字：ご意見を踏まえた対応 |
|---------|----|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | 適切になるよう 通所人数調整をしている |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | 適切になるよう 通所人数調整をしている |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | 活動場所に刺激が内容配慮した環境設定を行っている |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | 日々清潔を保つよう、清掃・消毒を行っている |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 1 | 現状個別指導対象の児童はいないが、必要に応じて個別支援を行っている |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | 支援会議日程は職員が全員参加できるよう調整している |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 毎年1回周知を行うようにしている。HPに掲載も行っている |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | コミュニケーションを大切に、細かいことも職員間で意見交換できるような環境をつくれるよう、努めている |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | | 毎年1回行うようにしている。HPに掲載している |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 毎月様々な研修に参加できている |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | プログラム作成後、毎月保護者へお手紙でお知らせを行っている |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | | アセスメント・計画はPDCAを行いながら適切に作成している |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | 全職員でPDCAを行いながら適切に検討会議を行っている |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | 計画を元に支援を行うよう努めている |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | 標準化された評価ツールによるフォーマルなアセスメントと、日常の行動観察等によるインフォーマルなアセスメントの両方を用いて、こどもの適応行動の状況を確認している |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | 支援内容が適切に設定されているものか？本児の様子をみながら遂行している |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | 職員会議の場を設けて作成している |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | 様々な体験・経験の積み重ねができるよう、計画をしている |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | 集団行動練習と、それぞれの学習課題、習熟度に合わせてプリントを用意して支援を行っている。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | 朝礼時にタイムスケジュールと役割分担を確認し、支援を行っている |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | 終礼はないが、記録に残すこと、児童発達支援管理責任者への報告を夫々が行って退勤するようにしている |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | サービス提供記録にて残すようにしている。改善については、管理者への報告を行うよう努めている |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | 通所開始時、モニタリング時に5領域の中でどの様に児童の支援を行っていくか？保護者へのアンケートを元に作成をするよう努めています。作成後、相違がないか？指導員や保護者への確認も行って |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | | 日々のプログラムの中で複数の要素を組み合わせ支援している。例えば、創作活動の中に日常生活動作の練習を取り入れたり、活動の中で他児との関わりを意識した活動等ができるよう支援プログラムの計画を立てている |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | こどもが自ら選択できるような複数の選択肢を提示し、意思表示を尊重することで、自己決定する力を育てる支援を行うよう努めています |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | 児童発達支援管理責任者が参加をするようにしている |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | 体制は整えているが、そういった機会は多くはない。2025年度は2施設のみだった |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | 学校との共有は行わず、保護者と年間行事の共有を行っている。送迎はしておらず、保護者の送迎ができる児童のみ受け入れを行っている状況 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | | 必要に応じて行うようにしているが、まずは保護者へ特相センターへの就学相談をするように進めている。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | | 必要に応じて行うよう努めたいと考えているが小学生までの児童が通所しているため、現実的にそういった機会は少ない |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | 必要に応じて行うよう努めたいと考えている |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | | 放課後に通所する児童のみなので、基本的にはそういった活動を考えていない |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | | 参加していない そういった機会は少ない |

| | | | | |
|----------|---------------------------------------|--|--|---|
| 保護者への説明等 | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | お迎え時に直接どのような様子だったか？発達上できる様になったことや、今練習していること、課題などを共有しあって意見交換できるようにしている。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 保護者会時に発達障がいの理解やプログラム遂行における基本的な学びの機会を設けている |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 契約時等に説明を行いながら、契約書・重要事項説明書に署名してもらっている。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 作成にあたり、こども及び保護者の意向を確認する機会をアンケートベースで設け、意思を尊重するとともに、こどもの最善の利益を踏まえた支援内容を検討するように努めている |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | 個別支援計画を一読、必要に応じて説明を行いながら、同意を頂くようにしている。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 必要に応じて気軽に相談や面談ができる体制を整えている。特に不登校時は通所日以外の本児の様子を確認やかかわり方なども面談で伝える様にしている。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 保護者会時に座談会を開催しているが、まだまだ話したりない様子の雰囲気なので、もっとそういった機会をゆっくり作っていきける計画をすすめている。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 苦情については専用の窓口を設置して、指導員が直接対応するのではなく、会社として適切に対応するように努めている。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 必要に応じて LINEの斉配信で周知を行った後、紙面を配布するようにしている |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | 十分留意している。 |
| 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 配慮している。 | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | そういった機会はあまり設けていないが、モンテッソーリ体験会などは近所のお子様も参加できるように、声掛けなどを行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 年に二回訓練と研修を行うようにしている |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 確認している |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 現状通所児童にアレルギー対応を必要とする子どもはいないが、アレルギー対応マニュアルに沿って対応を行っていく予定 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 年に一回研修を行い、毎月点検、訓練の実施を行っている |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 行っている。災害用伝言ダイヤルの練習を保護者と主に行うなど、保護者参加型の訓練も実施 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 常に行っている。インシデント報告書も作成・回覧で周知するように徹底している |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 研修は年に二回あり、適切に対応するよう指導を行うとともに、チェックシートなどの活用もしている |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 身体拘束適正マニュアル・指針を確認するとともに、保護者へ契約時に説明を行うようにしている。 |